

令和6年 平戸市二十歳のつどい



1月3日、平戸文化センターで「令和6年平戸市二十歳のつどい」が開催されました。今年度20歳を迎える対象者275人のうち、鮮やかな着物やスーツを身にまとった233人が出席。友人や恩師との久しぶりの再会を喜び合いました。

☎ 生涯学習課生涯学習推進班 ☎ 22-9214



代表あいさつ(抜粋)



ますや ゆうだい
桝屋 雄大さん
(度島地区)

この地に生まれて20年。振り返れば一瞬だったように思います。度島の温かな人々と広大な自然に囲まれ純粋に育った幼少期、陸上に打ち込み夢に向かい走った中学時代、父の背中に憧れ航海士を目指し島を出た高校時代。そして現在、タンカー船での天然ガス輸送に従事しています。今でも、「学生時代に陸上で結果を出してから船の道へ進んでも遅くなかったのではないか」と考えることがあります。それでも、両親や友人の支えで前に進むことができました。今の仕事では、天然ガスを各地に輸送し人々の生活基盤を形作っています。これからは、困っている人にも手を差し伸べ支えることができるような人間になりたいと思います。誰かを支えることができた時、私はあの選択が間違いではなかったと思えるでしょう。自分の思い描く将来像や理想像の実現への一歩を、今日踏み出していきます。



かわくぼ はるか
川久保 遥さん
(大島地区)

私たちは平戸の自然と歴史あふれる環境の中で、多くの人に支えられながら成長して参りました。私は、中学卒業後、ふるさと大島を離れ高校生活を送りました。慣れない土地でしたが、たくさんの方々と楽しく過ごすことができました。現在は、幼い頃からの夢である看護師として地域や社会に貢献するため、専門学校で勉学に励んでいます。私たちは、大学や専門学校で勉強している人や、就職し仕事に毎日奮闘している人など、さまざまな道を歩んでいます。これから先、困難に直面し悩み、失敗することもあると思いますが、少しずつ確実に成長して、何事にも挑戦していきたいです。20歳という節目を迎えましたが社会人としてはまだまだ未熟者です。今まで支えていただいた皆様への感謝の気持ちを忘れず、新成人として自覚ある行動に努めることをお約束し、代表挨拶とさせていただきます。